

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4071602033		
法人名	(有) コスモピア		
事業所名	グループホーム コスモピア高良内		
所在地 (電話番号)	福岡県久留米市高良内町3919-5 (電話) 0942-44-6500		
評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成22年3月18日	評価確定日	平成22年4月25日

【情報提供票より】(平成22年2月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤 16 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	17.7 人

(2) 建物概要

建物構造	(すずらん棟) 鉄骨平屋建て (たんぼぼ棟) 木造平屋建て 1階建		
------	--------------------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	(水道光熱費)6,000円	
敷金	有(100,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 850 円			

(4) 利用者の概要 (2月8日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.8 歳	最低	66 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	つむら診療所・毛利歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高台の閑静な場所に、周囲を桜並木に囲まれたグループホーム「コスモピア高良内」は位置しており、隣接してホームの庭であるような広大な緑地公園が広がり、恵まれた周辺環境を有している。このホームでは、近隣にある協力医療機関医師と、ホームの看護師・介護職員との充実した連携の中で、入居者・家族の思いを受け止めながら、最期まで安心して暮らせるようターミナルケアを支援しており、これまでに8名の方の看取りを経験している。それはホームにとっての成長の礎ともなっており、職員は入居者本位の日々の暮らしを大切に支援していくことを念頭に置き、日々自己研鑽に努めている。現在取り組んでいるアセスメントの充実により、一人ひとりの入居者の全体像の把握に努めながら、個別支援を更に充実させるよう取り組み始めており、穏やかな時間の流れの中で、生き活きた入居者の方々の表情が印象的であった。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価以降、アセスメント様式の工夫・充実に取り組んでおり、職員の気づきなどを積み重ねながら、個別ケアの更なる充実につなげて欲しい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	客観的な視点での自己評価作成に努めており、評価を振り返りの機会として活用している。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、家族代表・地域住民代表・民生委員・久留米市担当者・地域包括支援センター職員・看護師等の参加により、2ヶ月に1回、定期開催されている。状況報告やヒヤリハット・事故報告等を行い、出席者との意見交換を行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	重要事項説明書に、ホームとしての相談窓口及び久留米市・関係機関の相談窓口を案内している。また毎月、久留米市より介護相談員の派遣を受けている。家族がより積極的に意見や要望を表せるよう、家族会の発足に向けた働きかけを行う等、サービスの向上に向けた具体的な取り組みにも期待します。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩の途中や、隣接する公園にて、地域住民や保育園児との自然な交流の機会がある。敬老会には積極的に参加しており、また、近隣中学校の職場体験学習を、毎年受け入れている。地域における福祉拠点として、近隣施設との連携の充実や、地域に向けての情報発信等、積極的な働きかけを行っていく意向がある。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	運営理念として「常に思いやりの心を持ち福祉介護を通じ地域社会に信頼される事業を目指す」、また、企業理念として「地域社会との共尊共生」と掲げており、地域密着型サービスとしての果たすべき役割を明確に示している。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	「運営理念・方針・私達の使命」をホールに掲示し、朝礼時には唱和している。代表者は朝礼を大切にしたい取り組みを行っており、理念や倫理教育の浸透・啓発を行いながら、日々実践に向けて取り組んでいる。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	散歩の途中や、隣接する公園にて、地域住民や保育園児との自然な交流の機会がある。敬老会には積極的に参加しており、また、近隣中学校の職場体験学習を、毎年受け入れている。地域における福祉拠点として、近隣施設との連携の充実や、地域に向けての情報発信等、積極的な働きかけを行っていく意向がある。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用	前回評価以降、アセスメント様式の工夫・充実に取り組んでおり、継続して課題としている。客観的な視点での自己評価作成に努めており、評価を振り返りの機会として活用している。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議は、家族代表・地域住民代表・民生委員・久留米市担当者・地域包括支援センター職員・看護師等の参加により、2ヶ月に1回、定期開催されている。状況報告やヒヤリハット・事故報告等を行い、出席者との意見交換を行っている。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

コスモピア 高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	久留米市の派遣する介護相談員を、毎月受け入れている。また市の主催する地域密着型サービスの生活圏域事業所交流の機会を活用し、意見交換や情報共有を行いながらサービスの向上につなげるよう努めている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、これまでに活用した例はないが、勉強会等を実施し、全職員の理解を深めていくよう取り組んでいる。継続して取り組むべき課題としており、必要となった場合に活用に向けての支援が行えるように、また家族や地域に向けての情報発信が行えるように、外部研修への参加も含めた、今後の取り組みに期待します。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を实践するための体制					
8	14	家族等への報告	毎月、各担当職員による自筆の手紙を書き、日々の報告を行っている。また、個別のアルバムを作成し、家族に見てもらっている。金銭管理や職員の異動等については、来訪時に報告している。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	重要事項説明書に、ホームとしての相談窓口及び久留米市・関係機関の相談窓口を案内している。また毎月、久留米市より介護相談員の派遣を受けている。家族がより積極的に意見や要望を表せるよう、家族会の発足に向けた働きかけを行う等、サービスの向上に向けた具体的な取り組みにも期待します。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	視点を新たにするためや職員のストレス等に配慮するために、ユニット間での異動が行われることもあるが、最小限となるよう努めている。やむを得ず離職等が発生した場合にも、十分に申し送りを行い、管理者・職員によるサポートを行いながら、入居者へのダメージを防ぐよう配慮している。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	職員の採用にあたっては、人柄ややる気を重視しており、年齢や性別による排除は行わないようにしている。訪問当日は、手話を取り入れたレクリエーションが行われており、若い職員の能力が発揮されていた。月1回のスタッフミーティングでは、各職員が意見を出し合えるよう配慮し、また有給休暇の取得を促す等、働きやすい職場環境作りに努めている。		
		法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。			

コスモピア 高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	朝礼時には、毎日倫理に関する小冊子を活用し、感想を述べ合うことで、職員の人権に関する意識を高めている。高齢者虐待防止や認知症に関しての学ぶ機会を確保しながら、人権教育に取り組んでいる。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	運営者は外部研修への参加を積極的に促しており、グループホーム協議会や久留米市介護福祉サービス事業者協議会の主催する研修会に参加している。また伝達研修を実施し、職員間で共有している。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	グループホーム協議会や久留米市主催の生活圏域事業所交流会等の参加を通じて、交流の機会を持っている。21年度はインフルエンザの影響もあり、近隣にある福祉施設との交流ができなかったが、今後はまた働きかけを行っていく予定としている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
2. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	自宅や病院を訪問し、本人・家族との面会の中で、希望や要望、困っていること等を聴き取りながら、顔なじみの関係となるよう取り組んでいる。空室があれば、体験入居も可能である。家族との連携を図りながら、徐々に馴染めるよう、柔軟な対応を行っている。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気や徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	入居者の方々の何気ない一言に気づきを得たり、ふれあう中でコミュニケーションの大切さを学んだり、伝統料理・行事や生活の知恵などを教えてもらうこともあり、また、そういった場面を大切にしている。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

コスモピア 高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>前回評価以降、生活暦の把握やフェイスシートの項目を追加する等、アセスメントの充実に向けた取り組みを行っている。入居者の言葉や職員の気づきを記録しながら、職員間で共有している。今後のアセスメントの充実を、個別ケアの充実へとつなげるよう取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当者会議や家族来訪時に、本人・家族の意向を確認している。担当者会議には医師や看護師が出席することもあり、それぞれの意見を反映させながら、介護計画を作成している。</p>		<p>現在、各担当職員によるアセスメント実施に取り組み始めており、それぞれの思いやこれまでの暮らしの把握に努めながら、職員間で共有し、個別ケアの充実につながる介護計画の作成に期待します。</p>
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月、モニタリングを実施し、定期的見直し及び状況の変化に応じた見直しを行っている。記録様式・アセスメント様式の工夫・充実を、介護計画の見直しに活用していくよう取り組んでいる。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の状況に応じて、通院介助等に柔軟な対応を行っている。入院時には、医療関係者との連携を図りながら、入居者との関係性を保ち、不安なくホームに戻るよう支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人・家族の意向によるかかりつけ医としている。近隣の協力医療機関より毎週往診があり、医師・看護師・職員の充実した連携の中で情報の共有が行われている。看護師の役割を明確にし、介護職員へわかりやすく説明したり、職員間で検討されたケア方針をもとに医師との方向性の確認を行う等、適切な医療活用に向けての意識は高く、本人・家族の安心につながるよう取り組んでいる。</p>		

コスモピア 高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化や終末期のあり方について、入居時の意向確認を行い、また状況の変化に応じて、その都度家族や医師との話し合いを重ね、方針を共有している。入居者・家族の思いを受け止めながら、協力医・看護師・職員の充実した連携の中で、開設以来8名の看取りを経験したことは、ホームとして成長の礎ともなっている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの入居者の個性や認知症への理解を深めていきながら、尊厳を損ねない対応や言葉使いに努めている。記録等、個人情報に関しては、事務所にて保管・管理が行われている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	食事開始時間や入浴日・時間帯等については、ある程度のスケジュールは決めているが、起床時間等については、個々に合わせた対応を行っている。できる限り一人ひとりの生活リズムを尊重しながら、自己選択・自己決定の場面を大切にしよう努めている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	ホームの畑の収穫物や、土筆・菜の花など、旬の食材を楽しみながら、職員もともに食卓を囲んでいる。買い物と一緒に出かけたり、味付けや配膳等、一人ひとりの力を発揮してもらいながら、個々のペースでゆっくりと食事を摂っている。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	入浴日や時間帯はある程度決まっているが、希望や状況にあわせて、無理強いとにならないよう柔軟な支援に努めている。入浴剤を使用する等、入浴を楽しむ支援もしている。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

コスモピア 高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	洗濯物をたたんでもらったり、調理の味付けをアドバイスしてもらうなど、希望や状況にあわせて力を発揮してもらっている。アセスメントの充実を、一人ひとりに合わせた役割や楽しみごとへの支援の充実へとつなげて欲しい。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	整備された公園が隣接しており、ユニット間の散歩等、気軽に外出できる環境にある。一人ひとりの希望や状況に合わせて、徒歩や車椅子を用い、散歩に出かけている。散歩の途中で、地域住民や保育園児との交流を楽しんでいる。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	管理者・職員は、鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は鍵をかけないケアを実践している。所在確認や行動傾向の把握、目配り・気配りを心がけ、寄り添うケアを行っている。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	年2回、入居者の方々も参加する避難訓練、避難経路・場所の確認、水消火器を使用した消火訓練等を行っている。近隣に住む職員も多く、災害時の協力を要請している。近隣には福祉施設もあり、災害時の協力体制の確立に向けて、働きかけを行う予定としている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	協力医との連携により、個別のアドバイス(塩分・水分等)を受けながら、入居者の嗜好を踏まえ、野菜を中心とした献立を作成している。食事・水分摂取量を記録し、健康管理につなげている。週1回、訪問歯科の往診を受け、個別の口腔ケアを日々実施しており、ADLの維持・向上や疾患予防に取り組んでいる。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

コスモピア 高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	天井の高い、広いリビングを中心として居室が配置されている。テーブルや椅子、ソファ等が余裕を持って配置され、それぞれがくつろげる場所が確保されている。季節に応じた飾り付けがなされており、また対面式のキッチンからは調理の様子が伝わってくる。		
		共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	各居室には、自宅から筆筒や仏壇、写真等、使い慣れた物や大切な物が持ち込まれており、安心して過ごせるよう配慮されている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			